原稿作成のための注意コメントは各自で消去する

A4判縦。上下20mm、左右20mmの余白。本文11ポイント。投稿要領も参照すること。

ファイル名は、「筆頭著者の姓名.doc（または.docx）

日本の植物園に栽培されている植物の種数

The species number of plants cultivated in the botanical gardens of Japan

著者、所属等が複数の場合、

著者名のあと、および所属等の前に、上付き半角数字を記す。

著者名の姓名、およびFirst nameとFamily nameの間は半角スペース

植物 太郎1, \*・協会 次郎2

投稿者名または責任著者名のあとに、半角星印（＊）を記す。

著者および所属等が複数の場合、

日本語表記では全角中点「・」、

英語表記では半角カンマ+スペース「, 」で繋ぐ（&は使用しない）。

Taro SHOKUBUTU1, \*, Jiro KYOKAI2

所属がない場合は氏名のみ記す

1東東大学附属植物園・2道頓堀植物公園

1Botanical Garden, Toto University, 2 Dotonbori Botanical Park

要約：本研究では、○○○○○○○○○○、○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○の結果、○○○○○○○○○○○○○○○であった。○○○○○○○○○○、○○○○○○○○○○○○○○○○○と考えられる。

・要約：150〜300字

・キーワード：あいうえお順。5語程度。全角カンマで区切る

キーワード：栽培、植物、植物園、種数、日本

———————————————————————————————————————————

\*〒125-0052 東京都葛飾区柴又2-1-1

Shibamata 2-1-1, Katsushika-ku, Tokyo 125-0052

shokutaro@gmailnet.com

　○○○○○○○○○○○、○○○○○○○○○○○（花園 2010）。○○○○○○○○○○○○○○○（育成・育種 1998）、○○○○○○○。○○○○○○、（育成ら 平成4；1992）、○○○○○○○○○○（協会2001a、b、Onshitsu & Kyokai 2010）。

1ページ目の最後は、改ページする。

（所属がある場合）

・日本語住所、英語住所、メールを改行して記す。

・単著の場合は、半角星印（\*）は不要。

・住所には、郵便番号・都道府県も含める。

・英語住所の行政単位の表記については、市以下について「ハイフン+ローマ字読み」（-shi、-kuなど）で表記する。

・都道府県については、Pref.は省略し、半角スペースの後に郵便番号を表記する。

（所属がない場合）

・会員種別を記す（正会員、賛助会員、名誉会員）。

・著者の希望により、連絡先を記すことができる。その場合は、上記「所属がある場合」に従う。

・自宅住所等、掲載したくない場合は下記の協会事務局の住所を記載する。

　　〒114-0014　東京都北区田端1-15-11-201

　　Tabata 1-15-11-201, Kita-ku, Tokyo 114-0014

　　bull-jabg@syokubutsuen-kyokaijp

**本文（緒言、材料および方法、結果、考察など）、謝辞、引用文献をもって構成する。**各項目の頭に番号は付けない。

「緒言」の見出しは付けない。

材料及び方法

　○○○○○○○○○、○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○、○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（表1）。【表１挿入】

図表の挿入については、本文の内容を考慮して、希望する位置に【 】にて明示する。

結果

　○○○○○○○○○、○○○○○○○○○○○○○○○○○（図1A）。【図1挿入】○○○○○○○○○○○○、○○○○○○○（図1B）。

　○○○○○○○、○○○○○○○○○○○○（図2）。○○○○○○○○○○○、○○○○○○○○○○。【図2挿入】

考察

　育種ら（2000）は、○○○○○○○○○○○○、○○○○○○○○○。○○○○○○、○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（Plants *et al.* 2012）。○○○○○○○○○○○○、○○○○○○○○○○○○○○○○○○（Saibai 1980、展示 2005）。

　本研究では、○○○○○○○○○○○○○○のご協力を頂きました。○○○○○○○○○に感謝申し上げます。

「謝辞」の見出しは付けない。「ですます調」でも可。

引用文献は、第一著者名のABC順、年代順に配列する。

引用文献

花園春子（2010）オニバスの開花について．栽培 10: 215-224．

育成大樹・育種花子（1998）ヒゴタイ．協会誌編集委員会（編）．日本の山野草辞典．35-51．日本植物出版社．東京．

育成大樹・温室三郎・園四郎（平成4；1992）日本の植物園．植物出版社．大阪．

育種花子・植木太郎・栽培百合子・園四郎（2000）世界の植物園．東都出版社．東京．

協会次郎（2001a）日本の植物園における集客対策についての研究．日本植物園大学大学院理学研究科学位論文．

協会次郎（2001b）植物園の集客対策の統計学的解析．日本植物園協会誌 28: 100-115.

Onshitsu, T. & Kyokai, J. (2010) The effect of photoperiodical treatment on the flowering of Euryale. Bulletin of Japanese Association of Botanical Gardens 35: 215-224.

Plants, S., Tree, T & Flower, F. (2012). Japanese gardens. Seed, T & Leaf, M. (eds). In: Botanical gardens in the world. pp. 110-150. Toto University Press, Tokyo.

Saibai, Y. (1980) Plant diversity. Botanical Press, Osaka.

展示陽子（2005）コチョウランの栽培におけるかん水方法の検討．ウェブ版洋ラン図説 4: 21-24．＜http://www.aaaa.bbb.cc/＞（2016年10月10日アクセス）

図表の説明文

発行年号は必要に応じて、年号と西暦の並記も可。

Webを引用する際には、アクセスした月日を記す。

日本語文献：発行年は全角括弧内。表題、雑誌名または書籍名、出版社名は全角ピリオドで区切る。

英語文献：発行年は半角括弧内。表題など半角カンマ（またはピリオド）＋スペースで区切る。

図１　花の構造　Ａ：花弁。Ｂ：雄蕊。Ｃ：雌蕊。

表１　解析に使用したサンプル

日本植物園協会誌投稿カード

図は、JPEG形式もしくはPDF形式で作成し、ファイル名は、「筆頭著者名（姓名）・図1」、「筆頭著者名（姓名）・図2」とし、拡張子を付ける（JPEG形式では「.jpg」、PDF形式では「.pdf」）。

表は、Microsoft Office Excelファイルとして作成し、ファイル名は、「筆頭著者名（姓名）・表1」、「筆頭著者名（姓名）・表2」のとし、拡張子（.xlsまたは.xlsx）を付ける。

説明文の様式は、本文の様式に従う。

ただし、ひとつの図または表中に、複数の図または複数の表がある場合の説明文では、全角で表記した「Ａ：」「Ｂ：」で区別し、それぞれの終わりは全角句点（。）。

図および表の図番号とタイトルはゴシック系フォント(11ポイント)。説明文は明朝系フォント（10ポイント）。

・日本語では、図番号（または表番号）とタイトルの間に、「全角スペース」をいれる。

私は日本植物園協会誌に原稿掲載を希望するので、このカードにて投稿します。投稿にあたっては、別紙の「日本植物園協会誌投稿要領」に従います。

　　年　　月　　日

 氏名

以下の欄にご記入下さい。記入漏れがある場合には、研究発表委員会の判断で原稿を受理しない場合があります。

|  |  |
| --- | --- |
| 原稿タイトル |  |
| 原稿区分（いずれかに○） | 　総説　　　特別寄稿　　　特集記事　　　研究論文　　　研究発表要旨（※）　　　調査報告　事例報告　　　実用記事　　　開花記録　　　協会報告　　　その他※他誌に掲載の場合は雑誌名等を記入（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 投稿者名（全員） | 　　 |
| 投稿代表者名 | 　・原稿に関する問合せ等に直接対応いただける連絡担当者です。 |
| 所属機関名 | 　 |
| 住所 | 〒　　　　－ |
| 　 |
|
|
| 電話番号 | 　 |
| Fax番号 | 　 |
| E-mail（PCのみ） | 　 |
| 別刷希望（有償分） | あり（　　　　　　部）　　　　　　　　　　なし　　　　・委員会からの依頼原稿は、無料贈呈分30部を超える部数　　　　・上記以外は、希望する部数　　　　　（初校校正時に改めて注文書を送ります） |
| 所属部会（いずれかに○） | 第１分野 | 第２分野 | 第３分野 | 第４分野 | その他 |
|
| 会員種別（いずれかに○） | 正会員 | 賛助会員（個人） | 名誉会員 | 賛助会員（団体及び法人） |
| 所属機関内校正者氏名記入欄 |  |  |

　　　　　　　　　　※所属機関内校正者氏名記入欄は、投稿原稿の内容をご確認のうえ、自署してください。